

海岸堤防の耐震化で市街地の浸水を防ぐ (岡山県岡山市)

事業者：岡山県



耐震化に必要な鋼矢板の打設状況



住宅地が隣接する箇所が進む工事状況



対策名： No.18 全国の海岸堤防等の耐震化に関する緊急対策

事業名： 防災・安全交付金事業

- ポイント**
- 3か年緊急対策により海岸堤防の耐震化を前倒し実施
 - 耐震化進捗率の向上により周辺一帯を含めた耐震化推進に寄与
 - 地震による海岸堤防の損壊とそれに伴う背後地の浸水を防止

地域の概要・課題

三幡九幡海岸は、児島湾の北側に注ぐ一級河川旭川・吉井川の河口の間に位置しています。

背後には県庁所在地である岡山市街地のゼロメートル地帯（防護面積1,540ha、防護人口約3万人）が広がっており、地震により海岸堤防等が損壊した場合、背後地が浸水し、地域社会・経済に重大な被害をもたらすおそれがあります。

事業の概要

本事業では、地震に伴う液状化発生により海岸堤防等の沈下が想定される箇所について、矢板工による耐震化を順次実施しているところです。3か年緊急対策では、事業効果の早期発現を図るため、330m間の耐震化を前倒し実施しました。

【見込まれる効果】

三幡九幡海岸の背後にある岡山市街地を地震による浸水から守るためには、東西に流れる一級河川旭川・吉井川（河口付近）の堤防と連続性をもった耐震化が必要です。両河川では耐震化が進められており、当海岸の耐震化進捗率の向上により周辺一帯を含めた耐震化推進に寄与しました。

【三幡九幡海岸の耐震化進捗状況表】

		延長 (m)	耐震化 進捗率
全体計画 (要耐震化区間)		2,520	-
進 捗 状 況	3か年緊急対策 <無し>	750	30%
	3か年緊急対策 <有り>	1,080	43%

3か年緊急対策によりプラス13%向上